

群馬県の観光情報8月号

令和8年（2026）年8月18日
群馬県東京事務所 政策調整第二係

今月の外来発表

No.	情報提供元	内 容
1	利根町観光協会事務局（沼田市）	<u>沼田市利根地域観光PR</u>
2	（株）スノーピーク	<u>スノーピーク ランドステーション赤城 9/19（土）開業</u>

今月の注目情報

No.	情報提供元	内 容	資料
1	利根町観光協会事務局（沼田市）	<u>沼田市利根地域観光PR</u>	P.1
2	（株）スノーピーク	<u>スノーピーク ランドステーション赤城 9/19（土）開業</u>	P.1
3	榛東村産業振興課 吉岡町産業観光課産業振興室	<u>北群馬郡の美味しいもの・楽しいことが大集合！</u>	P.2
4	原美術館ARC（渋川市）	<u>展覧会「Fly to the Moon: 月をめぐる5つの物語」</u>	P.2
5	群馬県立土屋文明記念文学館	<u>企画展「開館30周年記念 正岡子規とアララギ」</u>	P.3
6	群馬県立歴史博物館（高崎市）	<u>第115回企画展「現代（いま）によみがえる能装束-縫の精緻 箔の輝き-」</u>	P.3

今月の同封資料

No.	情報提供元	内 容
1	みどり市	関東菊花大会(11/1～11/30)
2	原美術館ARC(渋川市)	Fly to the Moon: 月をめぐる5つの物語
3	近代美術館	特別展示 孤高の彫刻家 村山琴泉
4	群馬県立歴史博物館	第115回企画展「現代(いま)によみがえる能装束-縫の精緻 箔の輝き-」

情報のお問合せ、ファイルや画像のご請求はこちらへどうぞ

群馬県東京事務所 政策調整第二係

E-mail : g-info@pref.gunma.lg.jp

電話 : 03-5212-9106 FAX : 03-5212-9103

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館8階 群馬県東京事務所

(東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線 永田町駅から徒歩約1分)

沼田市利根地域観光PR【利根町観光協会】

自然と歴史が息づく、沼田市利根地域へ		
群馬県沼田市の北東部に位置する利根地域は、豊かな自然と歴史、そして地域ならではの食や文化に出会える魅力あふれるエリアです。 四季折々表情を変える山や清らかな川、美しい渓谷など、心を癒す自然が広がります。春の新緑、夏の涼やかな高原、秋の鮮やかな紅葉、冬の雪景色と、訪れる季節によって異なる楽しみ方ができるのも魅力です。 また、吹割の滝をはじめとする雄大な景観や、地域に受け継がれてきた歴史・文化、地域の恵みを生かした農産物など、ここしか味わえない旅の魅力が詰まっています。 日常を少し離れて、豊かな自然の中で深呼吸する。地域の人々の暖かさに触れ、衆の味覚を楽しむ。そんな「心に残る旅」が、利根地域ではきっと見つかります。		
日時		 (吹割の滝)
場所	群馬県沼田市利根地域	
交通	【沼田まで】 車：関越自動車道 約90分 新幹線：上越新幹線 約70分 電車：JR高崎線・JR上越線 約110分	
担当	利根町観光協会事務局（沼田市観光交流課利根観光係）	

スノーピーク ランドステーション 赤城 9/19(土) 開業【群馬県前橋市】

ショッピング・飲食・滞在・情報発信を集約した赤城山の新ランドマークが来月オープン		
群馬県では、群馬県立赤城公園内に整備を進める複合施設「スノーピーク ランドステーション 赤城」を2026年9月19日に開業し、官民共創による持続可能な公園管理や運営体制の構築を目指して、株式会社スノーピークが管理・運営を行います。本施設は赤城山頂エリアの新たな観光・交流拠点として、観光案内機能に加え、スノーピーク直営店、カフェ、会議室、シャワー室、コインロッカー、多目的広場などを備えます。施設内には地元企業が運営する「ヒュッテ ハヤシ カフェ」が出店し、ブランド豚「福豚」や地元食材を活用したホットドッグなど、赤城ならではの食を提供します。直営店ではアウトドアギアやアパレル、限定アイテムのほか、群馬県内や周辺地域の特産品も販売します。さらにマルシェなどのイベントを定期開催し、人と人、人と地域をつなぐ交流の場を創出します。2026年4月に開業した「スノーピーク 赤城 キャンプフィールド」とあわせて、赤城山頂エリアでの周遊と滞在を促進し、地域の魅力発信と活性化に貢献してまいります。 https://www.snowpeak.co.jp/landstation/akagi/		
日時	2026年9月19日（土）	 スノーピーク ランドステーション 赤城
場所	群馬県前橋市富士見町赤城山1-22	
交通	JR前橋駅より車で約55分 JR高崎駅より車で約1時間20分 首都圏方面から車で約2時間30分（150km） 赤城ICより約35分	
担当	株式会社スノーピーク 広報 Tel. 03-6805-7738 / e-mail : pr@snowpeak.co.jp	

北群馬郡の美味しいもの・楽しいことが大集合！ 【榛東村・吉岡町】

しんとう・よしおか しんきちマルシェ		
北群馬郡の魅力を感じていただくため、今年も榛東村と吉岡町が合同でマルシェイベントを開催します。 両町村の事業者が美味しいものや自慢の農作物、手作り雑貨などを販売します。大人も子どもも楽しめる各種ワークショップや、周辺地域のキッチンカーも多数出店します。 ステージエリアでは、両町村中学校の吹奏楽部や陸上自衛隊第12音楽隊によるステージ演奏、ゆるキャラのコラボステージを予定しています。 ほかにもオリジナル手提げバッグやオリジナルフェイスタオルをプレゼントする企画もご用意しています。 詳しい情報は公式インスタグラムをご確認ください。 【公式インスタグラムURL】https://www.instagram.com/shinkichi.marche/		
日時	◆ 9月12日（土） 11時～17時	
場所	◆ ジョイホンパーク 吉岡	
交通	◆ 関越道駒寄スマートICから約3分 ◆ JR前橋駅より上野田四つ角行きバスで約32分、 源兵衛山古墳入口バス停で降車後徒歩2分	
担当	◆ 榛東村産業振興課（TEL：0279-54-2211） ◆ 吉岡町産業観光課産業振興室（TEL：0279-54-3111）	

展覧会「Fly to the Moon: 月をめぐる5つの物語」 【渋川市】

持ち物はあなたの想像力だけ——4つの展示室で展開する120分間の月世界旅行		
夜空に浮かぶひととき大きな天体、月。満ち欠けを繰り返しながらも、見上げればいつも規則正しくそこにあり、静かに夜道を照らします。月は古今東西の国々で信仰の対象とされ、また、神話やおとぎ話、詩、歌や物語に登場するように、長きにわたって私たち人類にアイデアの元となるひらめきを与え続けてきました。本展では「月」をテーマに制作された5つの作品を中心にその周辺をめぐる。持ち物はあなたの想像力だけ。秋のひとつき、4つの展示室で展開する約120分間の月世界旅行へ皆様をご案内いたします。 https://www.haramuseum.or.jp/jp/arc/exhibition/2275/ 関連イベント 観月会 一夜の美術館で月を待つー 2026年9月26日（土） https://www.haramuseum.or.jp/jp/arc/event/2298/ 美術館建築ライトアップ 2026年9月25日（金）、27日（日） https://www.haramuseum.or.jp/jp/arc/event/2299/		
日時	2026年9月12日（土）から2027年1月11日（月・祝） 休館日：木曜日（12月31日は開館）、1月1日 ＊2027年1月12日から3月中旬まで冬季休館	
場所	原美術館ARC	
交通	上越／吾妻線「渋川駅」よりバスにて約15分、「グリーン牧場前」下車、徒歩約7分。お車の場合、関越自動車道「渋川・伊香保I.C.」より8 km、約15分。	
担当	原美術館ARC 山川（本展担当）、岩村	

ジョナサン ボロフスキー《芸術は精神のために No.3094239》1989年 シルクスクリーン 170.2 x 138.4 cm ©Jonathan Borofsky

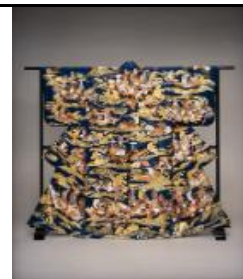
群馬県立土屋文明記念文学館【高崎市】

企画展「開館30周年記念 正岡子規とアララギ」	
・明治31年に「歌よみに与ふる書」を発表し、短歌革新に着手した正岡子規。 ・本展では、貴重な資料や様々なエピソードとともに、正岡子規の生涯と作品を紹介します。 ・また、子規の遺志を継承した伊藤左千夫や土屋文明らアララギ派の歌人の作品を展示します。	
【土屋文明記念文学館HP】 https://bungaku.pref.gunma.jp/	
日時	◆2026年7月11日（土）～2026年9月23日（水・祝） ◆開館時間 9:30～17:00（観覧受付は16:30まで） ◆休館日 火曜日（9月22日は開館）、9月20日
場所	◆群馬県立土屋文明記念文学館
交通	◆JR高崎駅（西口）からタクシーで約20分 ◆JR高崎駅からバス（群馬バス、市内循環バス） ◆関越自動車道前橋ICから約15分
担当	◆学芸係 長谷川誠（Tel 027-373-7721）



群馬県立歴史博物館 第115回企画展【高崎市】

「現代（いま）によみがえる能装束 -縫の精緻 箔の輝き-」	
生糸の一大生産地である群馬県にとって、絹を重要な材料とする能装束は文化的・経済的にも深い関係があります。今回の企画展では、能装束の中でも内着であり一部しか見えない縫箔に焦点を当て、日本刺繍の精緻な技術と美しさに迫ります。 本展は、山口能装束研究所の成果のひとつである50領にも及ぶ縫箔を展示します。また、昨年新たに群馬県の重要有形民俗文化財に指定された養蚕・製糸用具をあわせて公開することで、近世から現代における群馬の生糸生産についても紹介します。 （一般1,000円、大学生・高校生500円、中学生以下無料） 【当館HP】 https://grekisi.pref.gunma.jp/	
日時	◆2026年9月18日（金）～11月23日（月） 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
場所	◆群馬県立歴史博物館（高崎市綿貫町992-1）
交通	◆車：上信越自動車道「藤岡IC」より約10分。 関越自動車道「高崎玉村スマートIC」より約10分。 北関東自動車道「前橋南IC」より約15分。 アイ・ディー・エー群馬の森駐車場を利用（無料）。 ◆電車：JR高崎駅よりバスで約25分。
担当	◆群馬県立歴史博物館（027-346-5522） 学芸係 武藤



浪に花唐船文様
（山口能装束研究所蔵）